



【おうち英語】教えても良いのか？

今、運営しているオンライン英会話スクールの方で、
たびたび受ける質問に
「子どもがレッスン中わからないことがあると
聞いてくるのですが、教えていいですか？」
というものがあります。

いろいろな考えがあるかと思うのですが、
私自身は**教えない派**です。

我が家の場合、そもそも私がレッスン中に横に居なかったので
聞けなかったと物理的な理由もあったと思いますが、
敢えて気軽に子どもがレッスン中に聞きに来れないように
距離を置いていたのは
「講師の先生に英語で教えてもらって。」と思っていたからです。

もし日本語で教えてしまえば、
子どもは「困ったらママやパパに日本語で聞けばいい」と思って
わからない単語を「なんだろう？」と推測する力を放棄してしまうでしょうし、
せっかく母国語方式で英語を英語のまま理解するという手法を取り入れているのに、
日本語が介在する機会を作ってしまうことになります。

それに、日本語で教えることで
その場のコミュニケーションの問題は解決してしまうため、
教える側の講師も他の表現に変える、
ジェスチャーを入れるというような、
それ以上の努力をしてくれることもなくなってしまおうでしょう。

オンライン英会話は主にアウトプットの場として期待されますが、
会話とは一方的にアウトプットだけするものではありません。

相互でコミュニケーションすることによって、
それまで自分には未知であったことを相手から教えてもらったり、
気付かされたりするもので、
そういう意味ではインプットという側面も大いにあるのかと思っています。

そう思うと、
教えてもらうことでその場はしのげるかもしれませんが
得るものは少ないのではないかと私は思うのです。

子どもが困っている姿を見ることは辛いものです。

今、我が家の子どもたち、
娘は大学入試、息子は高校入試のための勉強に追われ、
精神的にも肉体的に毎日辛そうです。
(※今から3年前の話です)

でも何もしてあげられることなんてないですよ～。

もちろん生活面や健康面を陰ながらサポートすることはできますが、
子どもの代理で勉強するとか寝るとかできないわけで…。

先日、とある方の Youtube を見ていたら、
「親が子どものためにできることはそんなにない。
金銭面でのサポートだけだと思ってゴチャゴチャ考えずに働きましょう！」
と言われていてなるほどなと思ってしまったくらいです。

結局のところ、試練の差はあれど、
その子が越えなければならぬ試練はその子が越えるしかない、
と思うのです。

親にできるのは見守ることだけ。。

オンラインレッスンでも同じなのかな、と。

その場は良かれと思って教えてあげても、
実はそれは子どものためにはなっていない、という。

そして、子どもがオンラインレッスンで
「先生が言ってる〇〇って何？」と聞いてくるということは、
実はその場で教えるだけで済ませてしまっただけではいけない
シグナルだと私は思ったりします。

日本語を習得している子どもの様子・過程を思い出してみてください。

年齢・学年が上がれば

「これってどういう意味？」と聞いてくることもあるかと思いますが、
幼児期にはほぼないのではないのでしょうか。

子どもは大人が思うより、わからないことに柔軟なのだと思います。

その言語への柔軟性を持つ子どもが、
オンラインレッスンで「〇〇って何？」と聞いてしまうのは、
【日頃から日本語を介して英語を理解している】という
表れにもなるのではないかと・・・と。

つまり、日本語の方がかなり優位な状態になっているということで、
母国語方式での英語習得を願っているのであれば、
今取り組んでいる英語のインプット方法・量・時間を
検証する必要があるということです。

「手っ取り早く日本語訳を教えてその場をしのげばよい」とか
「期待される答えを英語で教えてあげればよい」、
「オンラインレッスンの時期が早いね」というように
簡単に片付けてよい話ではないのではないかなあ、、、と私は感じています。

おうち英語を成功させる秘訣があるとすれば、
【親が教えない】ということなのかなあ・・・とったりもしてします。

親が英語に堪能な場合はその限りではないですが、
通常は親が教えられる範囲を超えてきます。

それにたいいの日本人は学校教育で英語を学んでいるため、
教えるとなると【勉強】になってしまうことがほとんど。

勉強の意識が入ってくると、
話がややこしいことになってしまい、
別の意味で続けることが苦しくなってしまうこともあったりします。

また、オンラインレッスンのように【親が教える】ということが
その場しのぎの対応になってしまうこともあったりします。

そう考えると、【教えない】というスタンスを守っていた方が、
問題点に気付くことができたり、精神的にも楽なのではないかと思うのです。

【教えない】けれど【見守り】、
子どもの様子から、これからのおうち英語の課題を探ってみる、
そんな姿勢で見守っていくことが一番なのではないかなあ・・・と私は思っています。

観察に徹してみてください(^^)

2020年11月2日 note おうち英語「教えてもよいのか」より引用掲載